



なかしん

景況レポート



2010年 夏
中兵庫信用金庫

No.102

経営企画部

第 102 回 なかしん中小企業景気動向調査

(平成 22 年 6 月)

当金庫では、四半期ごとに景気の状態を知る一助として、お取引先のご協力により景気動向調査を実施しております。以下は、平成 22 年 6 月を調査時点とする平成 22 年度第 1 四半期(平成 22 年 4 月～6 月)実績(6 月は予想)、及び平成 22 年度第 2 四半期(平成 22 年 7 月～9 月)見通しについての調査結果です。

経営者の方々をはじめ、関係皆さまのご参考になれば幸いです。

調査時点	平成 22 年 6 月
調査対象	中兵庫信用金庫お取引先 [別表 1]
調査方法	聞き取り法
依頼先数	424 先
有効回答数	413 先 (回答率 97.4%)
その他	この調査における景気判断の基準として、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index, 略して DI、拡散指数という)による方法を採用しています。 これは、生産・販売・在庫・収益等について前期に比較して、(A)増加 (あるいは「上昇」)(B)変わらず、(C)減少(あるいは「下降」)のいずれかに回答していただき、この(A)(B)(C)の回答割合(%)のうち(A)から(C)を差し引いた値(DI)を時系列的に観察することによって景況をみる方法です。

[別表 1] 業種別構成

業種	依頼数	回答数
製造業	105	100
卸売業	39	39
小売業	108	106
サービス業	61	61
建設業	78	76
不動産業	33	31
合計	424	413

[調査地域]

丹波市・篠山市・三田市
西脇市・多可郡・加東市
三木市・小野市
神戸市北区・西宮市北部
福知山市

1. 今期景況の実績について

1. 総合的景況判断

平成 22 年 6 月期業況判断指数

項目 分類	H22 年 3 月期	H22 年 6 月期	- 増 減	H22 年 9 月期 予 想
製 造 業	4 5 . 7	3 4 . 4	1 1 . 3	3 1 . 3
非 製 造 業	4 5 . 0	4 2 . 3	2 . 7	4 0 . 4
全 業 種	4 5 . 3	4 0 . 4	4 . 9	3 8 . 2

○前回調査比

製造業は前回調査より 11.3 上昇し D I 指数 34.4 となった。H22 年 9 月期予想は 3.1 の上昇予想となり、D I 指数 31.3 となっている。

非製造業では、前回調査よりサービス業が 1.1 低下したが、その他の業種については上昇した。内訳は不動産業が 10.0 、卸売業 7.7 、小売業 2.0 、建設業 1.4 となっている。全業種では D I 指数が 40.4 となっている。H22 年 9 月期予想 D I は 2.2 増加の 38.2 となっている。

(9 ページ参照)

○前年同期比

前年同期比では製造業が 31.3 の上昇、非製造業全体では 11.6 上昇している。内訳をみると、サービス業 20.8 、建設業 16.6 、卸売業 14.0 、小売業 4.3 、不動産業 3.9 と全業種ともに上昇している。

ここ 1 年間では、全体で 16.4 上昇しており、H21 年 3 月期以降每期連続して上昇している。

(9 ページ参照)

業種別業況判断

製造業

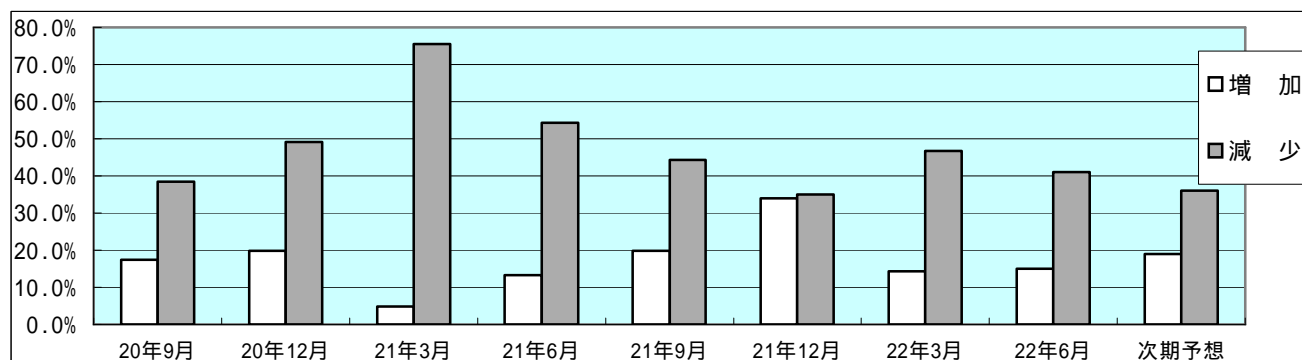
業況DIは前回調査より11.3 上昇し 34.4 となっている。また生産販売は6.4 上昇しDI26.0、収益DIも10.2 上昇し 26.0 となり、生産販売、収益面ともに前回調査から改善した。

次期予想では、業況DIが3.1 上昇の 31.3、生産販売DIは9.0 上昇、収益DIも10.0 上昇といずれも改善見通しとなっている。

(9・10・11・18 ページ参照)

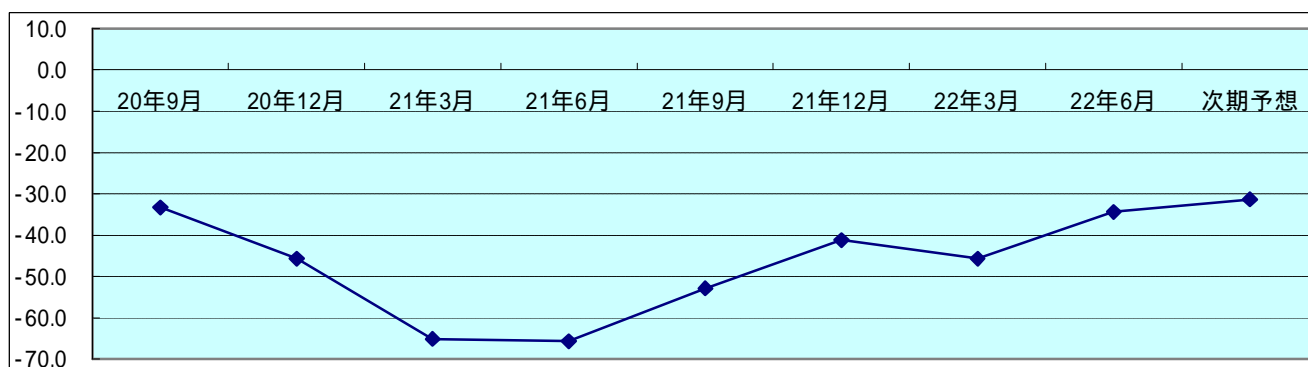
売上額増減企業数の推移

	20年9月	20年12月	21年3月	21年6月	21年9月	21年12月	22年3月	22年6月	次期予想
増加	17.4%	19.8%	4.7%	13.3%	19.8%	34.0%	14.3%	15.0%	19.0%
減少	38.5%	49.1%	75.5%	54.3%	44.3%	35.0%	46.7%	41.0%	36.0%



業況DIの推移

20年9月	20年12月	21年3月	21年6月	21年9月	21年12月	22年3月	22年6月	次期予想
33.3	45.7	65.1	65.7	52.9	41.2	45.7	34.4	31.3



卸売業

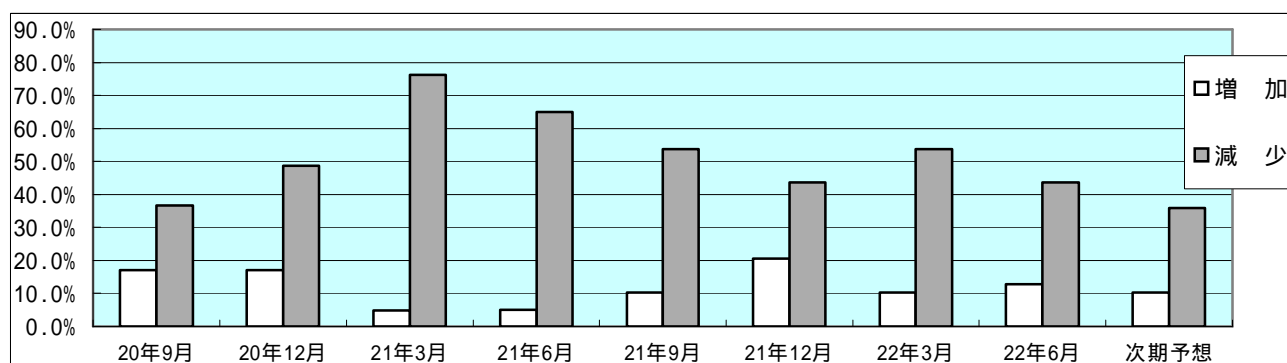
業況DIは前回調査より7.7 上昇し 41.0 となっている。生産販売DIは12.7 上昇し 30.8、収益DIは2.6 減少し 43.6 となり、前回調査から生産販売状況は改善したが、収益は悪化した。

次期については、業況は5.2 低下の 46.2 と悪化予想である。しかし生産販売は5.2 の上昇、収益も15.4 上昇し改善見通しとなっている。

(9・10・11・18 ページ参照)

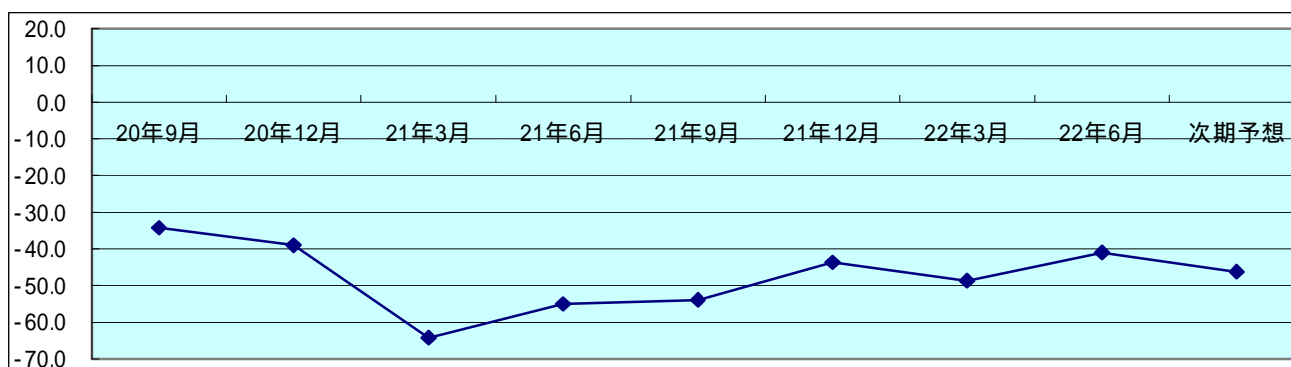
売上額増減企業数の推移

	20年9月	20年12月	21年3月	21年6月	21年9月	21年12月	22年3月	22年6月	次期予想
増加	17.1%	17.1%	4.8%	5.0%	10.3%	20.5%	10.3%	12.8%	10.3%
減少	36.6%	48.8%	76.2%	65.0%	53.8%	43.6%	53.8%	43.6%	35.9%



業況DIの推移

20年9月	20年12月	21年3月	21年6月	21年9月	21年12月	22年3月	22年6月	次期予想
34.2	39.0	64.2	55.0	53.9	43.6	48.7	41.0	46.2



小売業

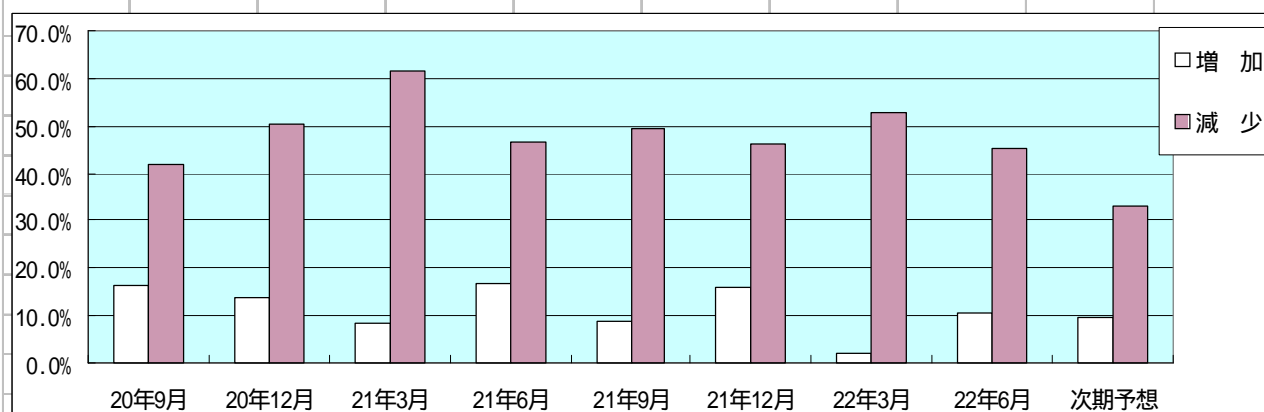
業況DIは前回調査より2.0 上昇し 47.1 となった。売上DIは16.0 上昇し 34.9、収益DIも7.5 上昇し 40.6 となり、業況、売上、収益面ともに前回調査から改善した。

次期予想では、業況DIは5.6 上昇し 41.5、売上DIは11.1 上昇、収益DIも13.9 上昇し、いずれも改善見通しとなっている。

(9・10・11・18・ページ参照)

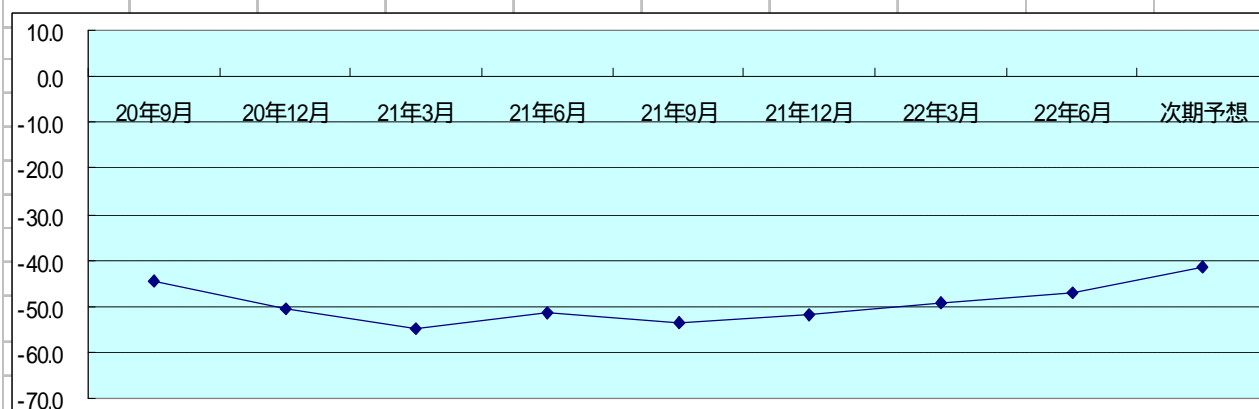
売上額増減企業数の推移

	20年9月	20年12月	21年3月	21年6月	21年9月	21年12月	22年3月	22年6月	次期予想
増加	16.4%	13.8%	8.4%	16.8%	8.7%	16.0%	1.9%	10.4%	9.5%
減少	41.8%	50.5%	61.7%	46.7%	49.5%	46.2%	52.8%	45.3%	33.3%



業況DIの推移

20年9月	20年12月	21年3月	21年6月	21年9月	21年12月	22年3月	22年6月	次期予想
44.5	50.5	54.8	51.4	53.4	51.8	49.1	47.1	41.5



サービス業

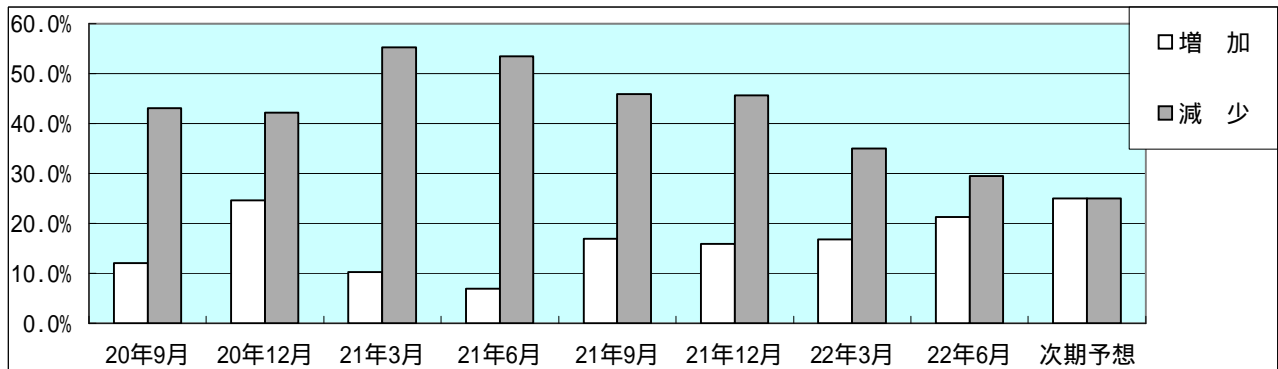
業況DIは1.1 減少し 34.4となっている。売上DIは10.1 上昇し 8.2と改善したが、収益DIは4.4 減少し 27.8と悪化した。

次期予想は、業況DIは4.4 上昇の 30.0である。売上DIは8.2 上昇、収益DIも17.8 上昇し、いずれも改善見通しとなっている。

(9・10・11・18 ページ参照)

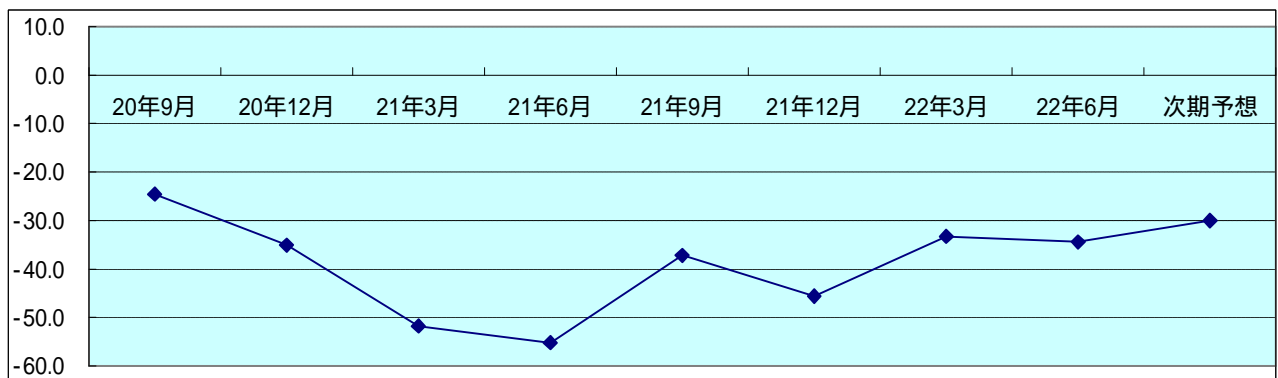
売上額増減企業数の推移

	20年9月	20年12月	21年3月	21年6月	21年9月	21年12月	22年3月	22年6月	次期予想
増加	12.1%	24.6%	10.3%	6.9%	16.9%	15.8%	16.7%	21.3%	25.0%
減少	43.1%	42.1%	55.2%	53.4%	45.8%	45.6%	35.0%	29.5%	25.0%



業況DIの推移

20年9月	20年12月	21年3月	21年6月	21年9月	21年12月	22年3月	22年6月	次期予想
24.6	35.1	51.8	55.2	37.2	45.6	33.3	34.4	30.0



建設業

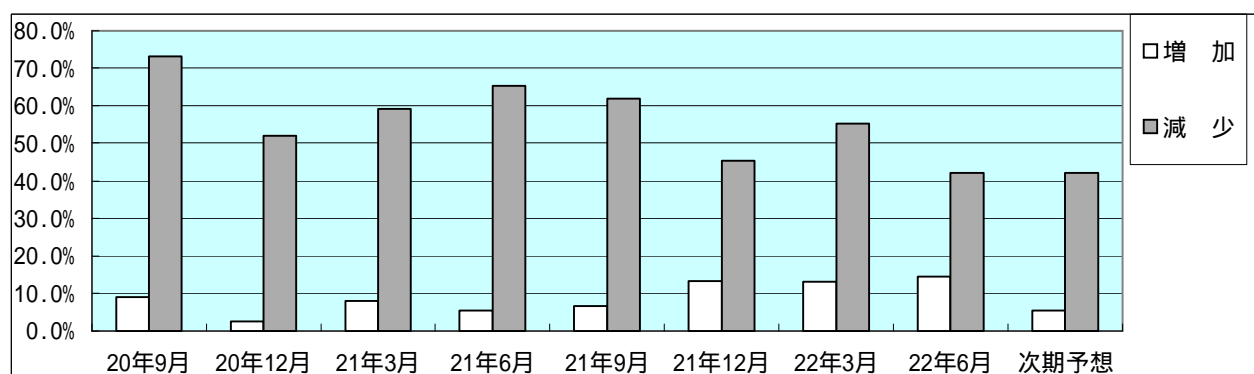
業況DIは前回調査より1.4 上昇し 45.3 となっている。売上DIは14.5 上昇し 27.6、収益DIは前回と変わらず 38.2 となり、売上は改善したが収益は横ばいとなった。

次期予想は、業況DIは4.7 低下の 50.0、売上DIは9.2 低下、収益DIも1.3 低下と悪化の見通しとなっている。

(9・10・11・18ページ参照)

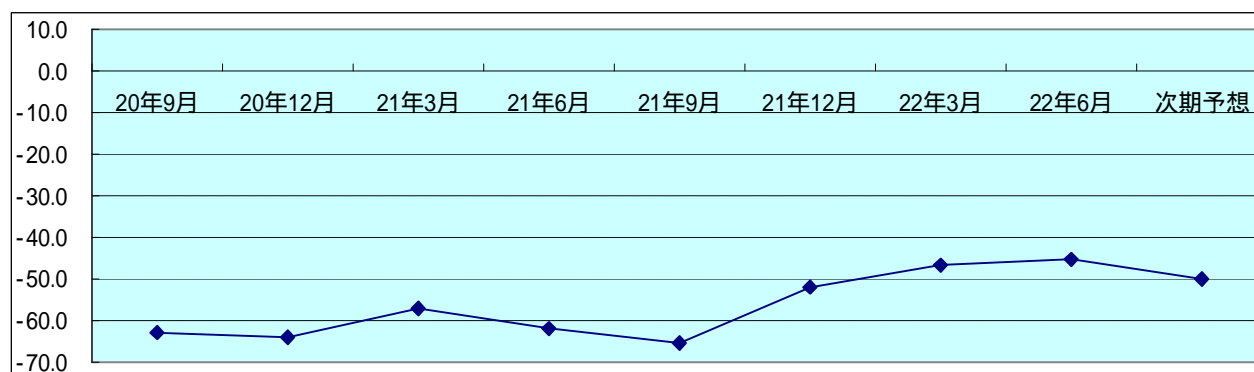
売上額増減企業数の推移

	20年9月	20年12月	21年3月	21年6月	21年9月	21年12月	22年3月	22年6月	次期予想
増加	9.0%	2.6%	7.9%	5.3%	6.6%	13.3%	13.2%	14.5%	5.3%
減少	73.1%	51.9%	59.2%	65.3%	61.8%	45.3%	55.3%	42.1%	42.1%



業況DIの推移

20年9月	20年12月	21年3月	21年6月	21年9月	21年12月	22年3月	22年6月	次期予想
62.9	64.0	57.1	61.9	65.4	52.0	46.7	45.3	50.0



不動産業

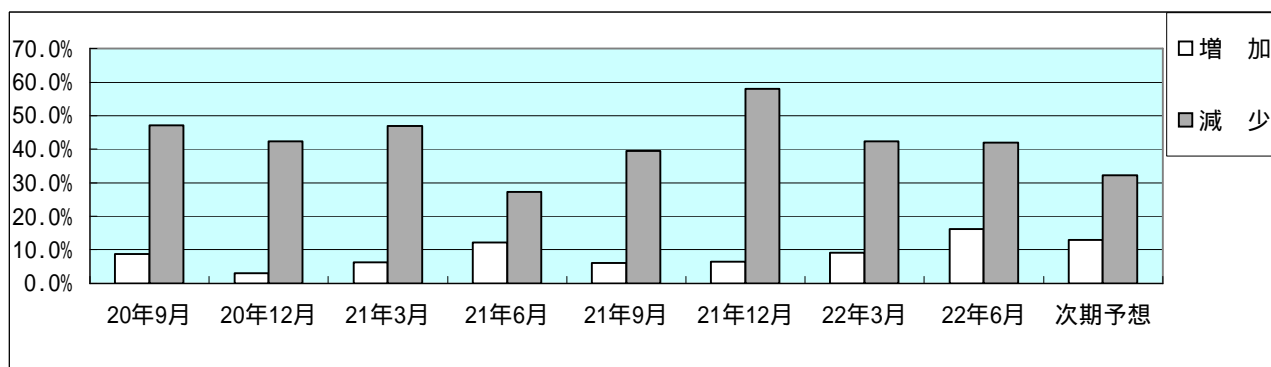
業況DIは、10.0 上昇し 35.5となっている。売上DIは7.5 上昇し 25.8 となったが、収益DIは8.6 減少し 41.9と悪化した。

次期予想は、業況DIが9.7 上昇し 25.8、売上DIは6.4 上昇、収益DIも16.1 上昇し改善見通しとなっている。

(9・10・11・18ページ参照)

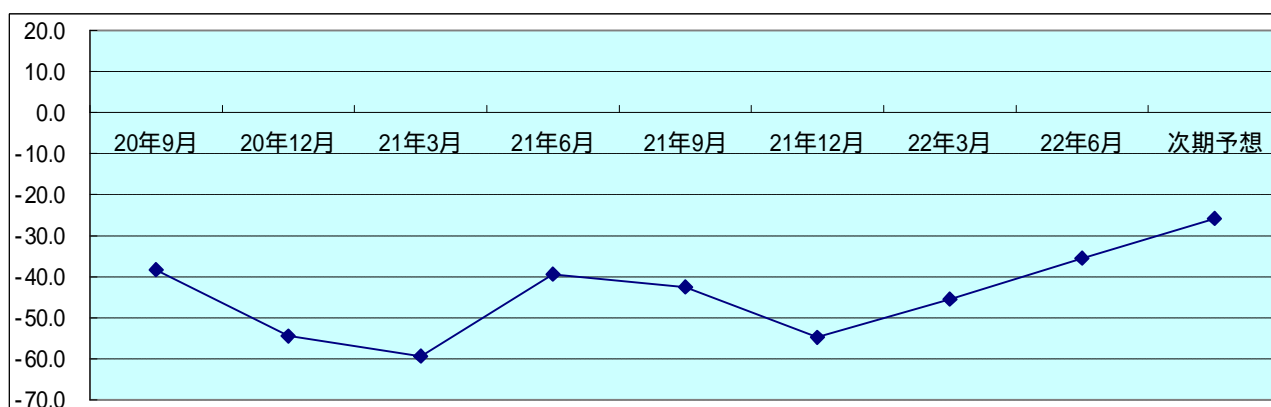
売上額増減企業数の推移

	20年9月	20年12月	21年3月	21年6月	21年9月	21年12月	22年3月	22年6月	次期予想
増加	8.8%	3.0%	6.3%	12.1%	6.1%	6.5%	9.1%	16.1%	12.9%
減少	47.1%	42.4%	46.9%	27.3%	39.4%	58.1%	42.4%	41.9%	32.3%



業況DIの推移

20年9月	20年12月	21年3月	21年6月	21年9月	21年12月	22年3月	22年6月	次期予想
38.3	54.5	59.4	39.4	42.5	54.8	45.5	35.5	25.8

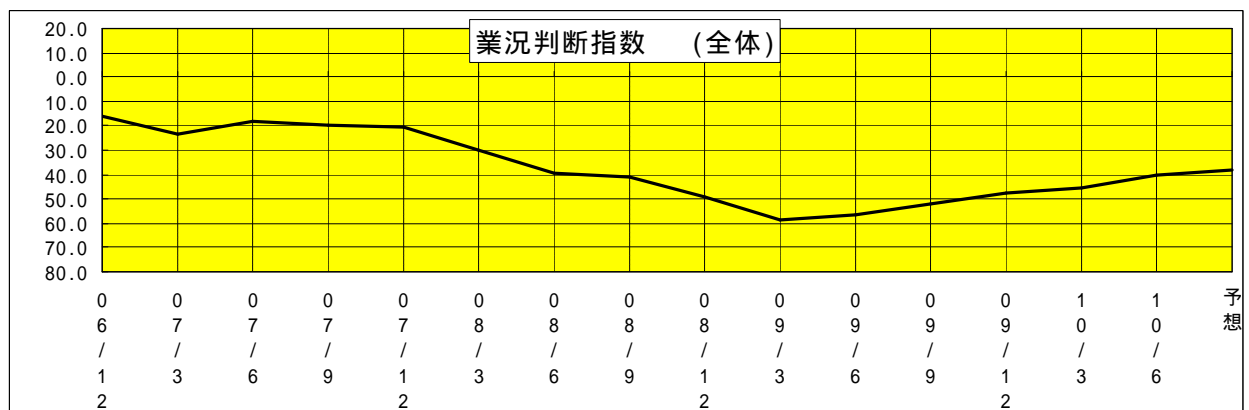


業 況 の 推 移

調査時点 \ 変動	良 い A	普 通 B	悪 い C	D I (A - C)
H21年 4～6月	4.3	34.6	61.1	56.8
H21年 7～9月	5.5	36.7	57.8	52.3
H21年 10～12月	8.5	35.2	56.3	47.8
H22年 1～3月	6.9	40.9	52.2	45.3
H22年 4～6月	8.5	42.6	48.9	40.4
見通し7～9月	8.5	44.8	46.7	38.2

業 種 別 業 況 (平成 22 年 4 月～6 月)

業種 \ 変動	良 い A	普 通 B	悪 い C	D I (A - C)	前回調査 D I	前年同期 D I	次回予想 D I
製 造 業	14.1	37.4	48.5	34.4	45.7	65.7	31.3
非製造業	6.7	44.3	49.0	42.3	45.0	53.9	40.4
(卸売業)	7.7	43.6	48.7	41.0	48.7	55.0	46.2
(小売業)	5.7	41.5	52.8	47.1	49.1	51.4	41.5
(サービス業)	6.6	52.4	41.0	34.4	33.3	55.2	30.0
(建設業)	6.7	41.3	52.0	45.3	46.7	61.9	50.0
(不動産業)	9.7	45.1	45.2	35.5	45.5	39.4	25.8
全 体	8.5	42.6	48.9	40.4	45.3	56.8	38.2



2. 生産・販売状況

生産・販売状況は前回に比べ「増加した」とする企業は4.0 増加、「減少した」とする企業が7.5 減少した。全業種で改善し、全体でD Iは11.5 増加の26.4 となった。

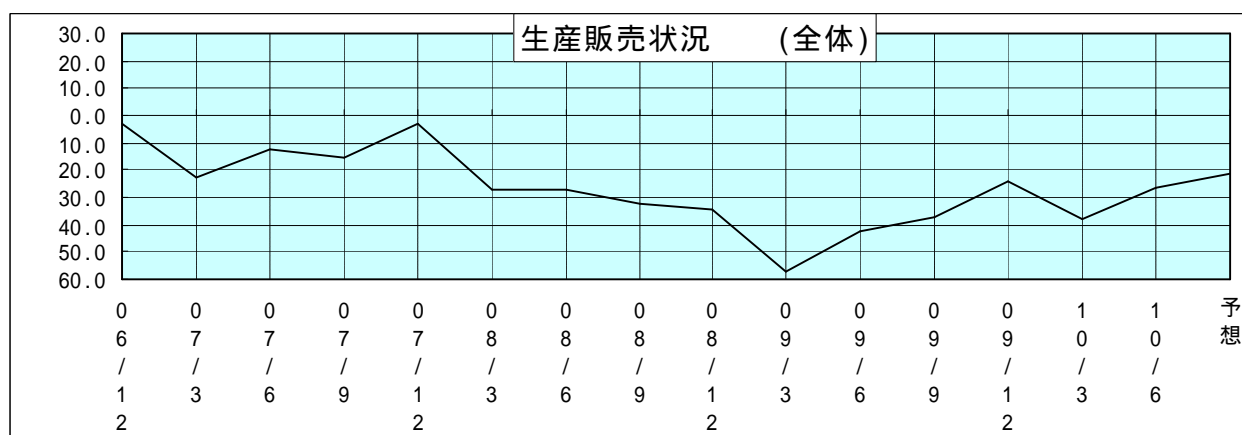
次回予想D Iは、全体で5.5 改善し20.9となっている。

生産・販売状況の推移

調査時点	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A - C)
平成21年 4～6月		11.0	35.9	53.1	42.1
平成21年 7～9月		12.3	38.2	49.5	37.2
平成21年 10～12月		19.7	36.5	43.8	24.1
平成22年 1～3月		10.5	41.1	48.4	37.9
平成22年 4～6月		14.5	44.6	40.9	26.4
見通し 7～9月		13.6	51.9	34.5	20.9

業種別生産・販売状況(平成22年4月～6月)

業種	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A - C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		15.0	44.0	41.0	26.0	32.4	17.0
卸売業		12.8	43.6	43.6	30.8	43.5	25.6
小売業		10.4	44.3	45.3	34.9	50.9	23.8
サービス業		21.3	49.2	29.5	8.2	18.3	0.0
建設業		14.5	43.4	42.1	27.6	42.1	36.8
不動産業		16.1	42.0	41.9	25.8	33.3	19.4
全体		14.5	44.6	40.9	26.4	37.9	20.9



3. 収益状況

前回に比べ、収益が「増加した」とする企業が1.8 増加、「減少した」とする企業が1.0 減少し、D Iは2.8 改善し 35.1となった。

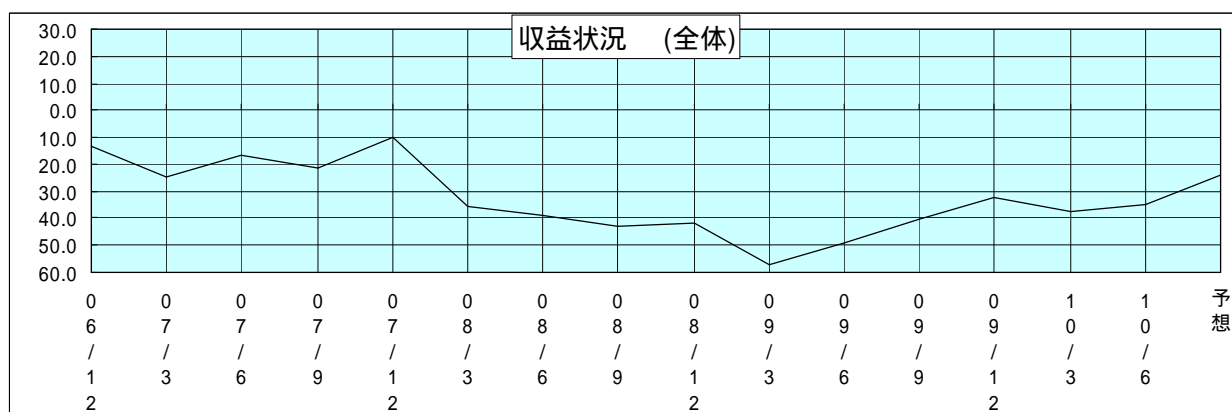
次回予想D Iは、全体で11.1 改善し 24.0となっている。

収益状況の推移

調査時点	変 動	増 加 A	変らず B	減 少 C	D I (A - C)
平成21年 4～6月		8.9	33.2	57.9	49.0
平成21年 7～9月		8.7	42.0	49.3	40.6
平成21年 10～12月		14.8	38.2	47.0	32.2
平成22年 1～3月		8.4	45.3	46.3	37.9
平成22年 4～6月		10.2	44.5	45.3	35.1
見通し 7～9月		10.5	55.0	34.5	24.0

業種収益状況(平成22年4月～6月)

業 種	変 動	増 加 A	変らず B	減 少 C	D I (A - C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製 造 業		14.0	46.0	40.0	26.0	36.2	16.0
卸 売 業		5.1	46.2	48.7	43.6	41.0	28.2
小 売 業		7.5	44.4	48.1	40.6	48.1	26.7
サ ー ビ ス 業		14.8	42.6	42.6	27.8	23.4	10.0
建 設 業		7.9	46.0	46.1	38.2	38.2	39.5
不 動 産 業		9.7	38.7	51.6	41.9	33.3	25.8
全 体		10.2	44.5	45.3	35.1	37.9	24.0



販売価格

販売価格は「上昇した」とする企業が1.3 増加、「下降した」とする企業は0.1 増加し、D Iは1.2 上昇し 17.7となった。

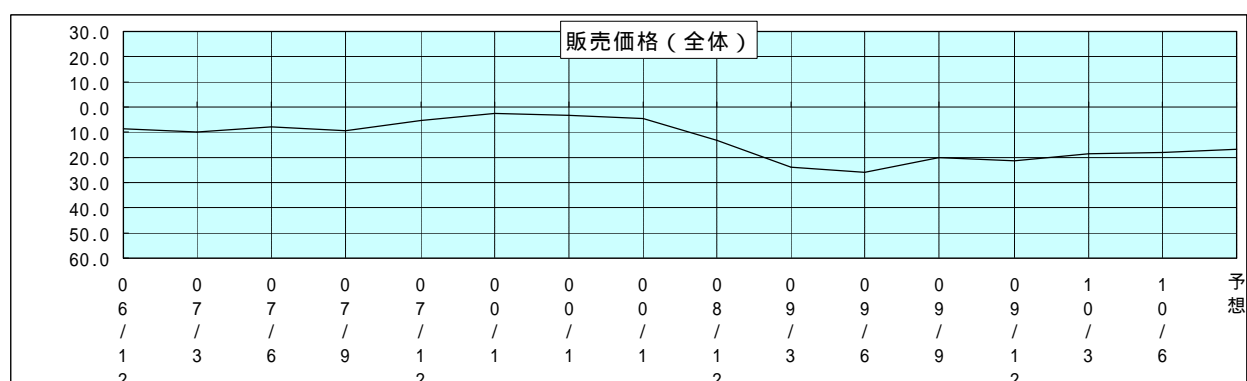
次回予想D Iは、全体で 16.6と1.1 の改善予想である。

販売価格の推移

変動		上昇 A	変わらず B	下降 C	D I (A-C)
調査時点					
平成21年	4～6月	4.8	64.1	31.1	26.3
平成21年	7～9月	4.3	71.4	24.3	20.0
平成21年	10～12月	3.4	72.2	24.4	21.0
平成22年	1～3月	3.6	73.9	22.5	18.9
平成22年	4～6月	4.9	72.5	22.6	17.7
見通し	7～9月	2.9	77.6	19.5	16.6

業種別販売価格状況（平成22年4月～6月）

業種	変動	上昇 A	変わらず B	下降 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		1.0	79.0	20.0	19.0	15.2	20.0
卸売業		2.6	74.3	23.1	20.5	30.8	5.2
小売業		6.6	67.0	26.4	19.8	14.1	19.0
サービス業		6.6	86.8	6.6	0.0	15.0	3.3
建設業		3.9	61.9	34.2	30.3	22.4	26.4
不動産業		13.3	66.7	20.0	6.7	31.3	13.3
全体		4.9	72.5	22.6	17.7	18.9	16.6



資金繰り

前回に比べ「楽」とした企業が1.1 減少、「苦しい」とした企業が0.2 減少し、D Iは0.9 低下し 31.8 と小幅ながら悪化した。

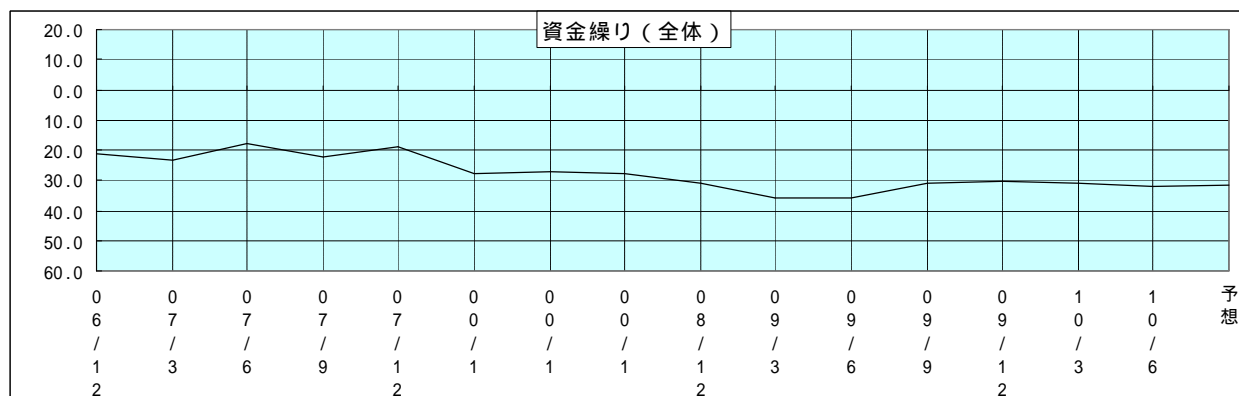
次回予想D Iは、全体では今回より0.5 増加の 31.3 とほぼ横ばいの見通しである。

資金繰り状況の推移

調査時点	変動	楽 A	変わらず B	苦しい C	D I (A-C)
平成21年	4～6月	3.6	56.8	39.6	36.0
平成21年	7～9月	4.3	60.4	35.3	31.0
平成21年	10～12月	5.4	59.0	35.6	30.2
平成22年	1～3月	4.3	60.5	35.2	30.9
平成22年	4～6月	3.2	61.8	35.0	31.8
見通し	7～9月	2.7	63.3	34.0	31.3

業種別資金繰り状況（平成22年4月～6月）

業種	変動	楽 A	変わらず B	苦しい C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		3.0	65.7	31.3	28.3	26.6	27.3
卸売業		2.6	66.6	30.8	28.2	28.2	30.8
小売業		0.9	55.7	43.4	42.5	41.0	38.1
サービス業		6.6	67.2	26.2	19.6	20.0	21.7
建設業		3.9	57.9	38.2	34.3	32.9	38.2
不動産業		3.3	63.4	33.3	30.0	30.3	23.4
全体		3.2	61.8	35.0	31.8	30.9	31.3



5. 雇用面の動き

○ 残業時間

前回に比べ「増加した」とする企業は 1.6 減少、「減少」したとする企業は 0.1 増加し、D I は 1.7 悪化し 12.6 となった。

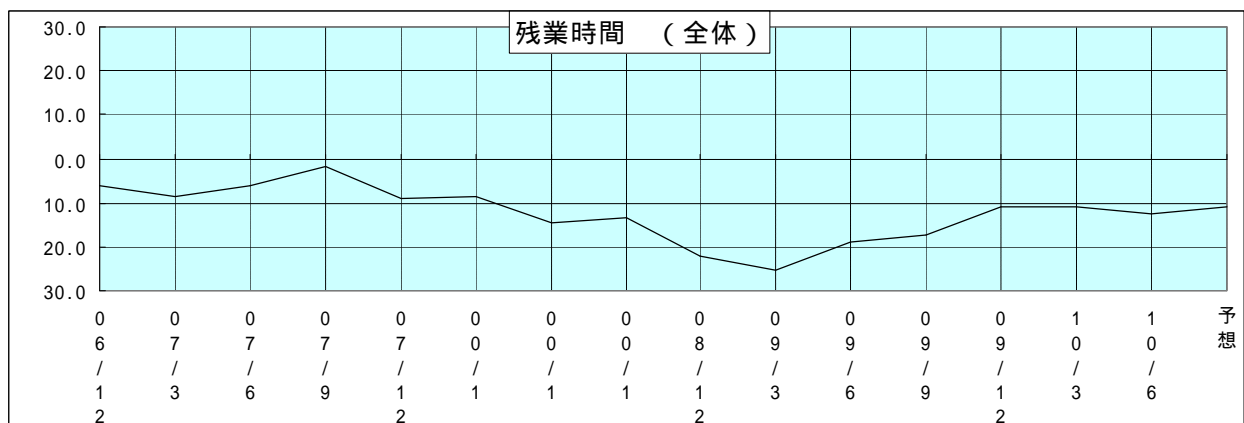
次回予想 D I は、1.5 の改善見通しの 11.1 となっている。

残業時間状況の推移

変動		増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)
調査時点					
平成21年	4～6月	4.1	66.6	29.3	25.2
平成21年	7～9月	5.6	70.0	24.4	18.8
平成21年	10～12月	6.4	70.0	23.6	17.2
平成21年	1～3月	7.5	74.1	18.4	10.9
平成21年	4～6月	5.9	75.6	18.5	12.6
見通し	7～9月	4.7	79.5	15.8	11.1

業種別残業時間状況（平成22年4月～6月）

業種	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		13.1	59.6	27.3	14.2	8.6	12.1
卸売業		2.6	82.0	15.4	12.8	10.2	10.2
小売業		2.9	84.5	12.6	9.7	7.6	6.8
サービス業		5.0	78.3	16.7	11.7	20.7	11.8
建設業		5.3	72.0	22.7	17.4	16.0	18.7
不動産業		0.0	93.3	6.7	6.7	0.0	3.3
全体		5.9	75.6	18.5	12.6	10.9	11.1



人 手

前回と比べ、「過剰」であるとした企業は 3.1 増加、「不足」とする企業が 0.4 減少し、D I は 3.5 増加し 4.7 となった。特に卸売業で 10.2 、建設業で 9.3 増加した。

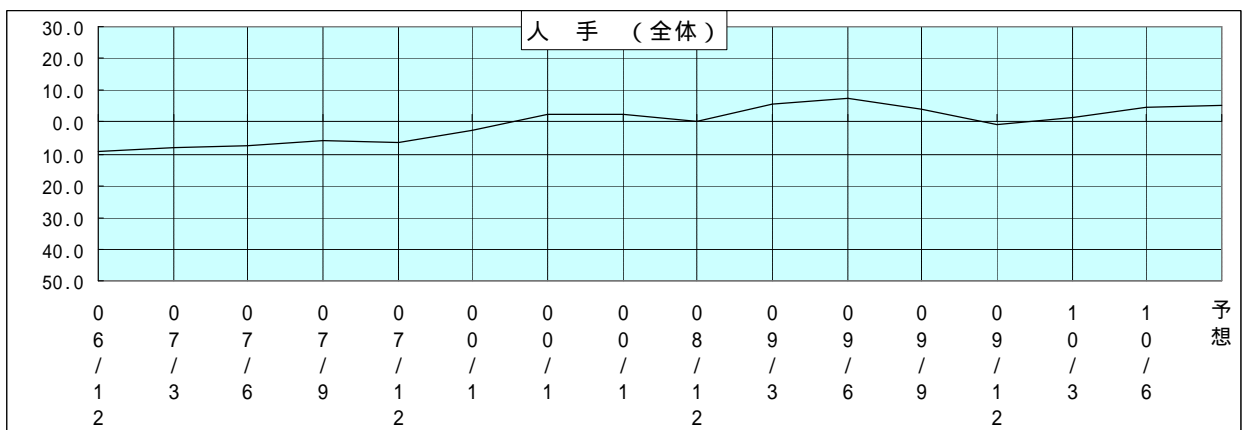
次回予想では、小売業が D I 3.9 不足予想であるが、卸売業 12.8、建設業 10.6、サービス業 10.0 と過剰予想となり、全体では 0.2 増加の 4.9 とほぼ横ばいの予想である。

人 手 の 状 況 推 移

変 動		過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A-C)
調査時点					
平成21年	4～6月	17.6	72.3	10.1	7.5
平成21年	7～9月	13.8	76.3	9.9	3.9
平成21年	10～12月	11.2	76.8	12.0	0.8
平成22年	1～3月	11.1	79.0	9.9	1.2
平成22年	4～6月	14.2	76.3	9.5	4.7
見通し	7～9月	13.0	78.9	8.1	4.9

業 種 別 人 手 状 況 (平成22年4月～6月)

業 種	変 動	過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A - C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製 造 業		19.0	70.0	11.0	8.0	8.7	5.0
卸 売 業		20.5	71.8	7.7	12.8	2.6	12.8
小 売 業		7.8	79.6	12.6	4.8	6.6	3.9
サ ー ビ ス 業		14.8	78.6	6.6	8.2	8.4	10.0
建 設 業		15.8	76.3	7.9	7.9	1.4	10.6
不 動 産 業		6.7	86.6	6.7	0.0	6.3	0.0
全 体		14.2	76.3	9.5	4.7	1.2	4.9



6. 経営上の問題点・当面の重点経営施策

経営上の問題点及び重点経営施策については、業種により項目の順位が入れ替わった程度で大きな変化は見られない。経営上の問題点では、売上の停滞・減少が全業種で1位となった。

経営上の問題点 (複数回答 単位：%)

業種	1位		2位		3位		4位	
製造業	売上の停滞・減少	53.0	利幅の縮小	29.0	同業者間の競争激化	27.0	原材料高	18.0
卸売業	売上の停滞・減少	71.8	同業者間の競争激化	33.3	利幅の縮小	20.5	仕入先からの値下げ要請	15.4
小売業	売上の停滞・減少	57.5	利幅の縮小	30.2	同業者間の競争激化	27.4	大型店との競争激化	25.5
サービス業	売上の停滞・減少	54.1	同業者間の競争激化	24.6	利幅の縮小	14.8	代金回収の悪化	14.8
建設業	売上の停滞・減少	63.2	同業者間の競争激化	56.6	利幅の縮小	50.0	代金回収の悪化	14.5
不動産業	売上の停滞・減少	38.7	利幅の縮小	32.3	商品物件の不足	22.6	同業者間の競争激化	16.1

当面の重点経営施策 (複数回答 単位：%)

業種	1位		2位		3位		4位	
製造業	経費を節減する	71.0	販路を広げる	55.0	新製品・技術を開発する	28.0	情報力を強化する	19.0
卸売業	販路を広げる	64.1	経費を節減する	59.0	情報力を強化する	23.1	品揃えを充実する	17.9
小売業	経費を節減する	62.3	品揃えを改善する	30.2	宣伝・広告を強化する	27.4	売れ筋商品を取扱う	26.4
サービス業	経費を節減する	60.7	販路を広げる	32.8	宣伝・広告を強化する	29.5	技術力を強化する	14.8
建設業	経費を節減する	61.8	情報力を強化する	43.4	販路を広げる	42.1	技術力を高める	31.6
不動産業	情報力を強化する	45.2	宣伝・広告を強化する	32.3	経費を節減する	32.3	販路を広げる	22.6

・平成22年度・第2四半期の景況見通しについて

業況の見通しは、全体では2.2 改善となっているが、各業種とも厳しい状況が続いている。

生産販売の見通しは、全体では5.5 の上昇となっているが、建設業については9.2 低下の予想となっている。

収益見通しは、全体では11.1 の上昇となっている。建設業が1.3 減少しているが他の業種は10 以上の改善予想である。

平成22年度・第2四半期(平成22年7月～9月)の業況見通し

業種	変動	良い A	普通 B	悪い C	D I (A-C)	22年4～6月 D I
製造業		12.1	44.5	43.4	31.3	34.4
卸売業		5.1	43.6	51.3	46.2	41.0
小売業		5.7	47.1	47.2	41.5	47.1
サービス業		11.7	46.6	41.7	30.0	34.4
建設業		3.9	42.2	53.9	50.0	45.3
不動産業		13.3	43.4	43.3	25.8	35.5
全体		8.3	44.9	46.8	38.2	40.4

平成22年度・第2四半期(平成22年7月～9月)の生産販売見通し

業種	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)	22年4～6月 D I
製造業		19.0	45.0	36.0	17.0	26.0
卸売業		10.3	53.8	35.9	25.6	30.8
小売業		9.5	57.2	33.3	23.8	34.9
サービス業		25.0	50.0	25.0	0.0	8.2
建設業		5.3	52.6	42.1	36.8	27.6
不動産業		10.0	56.7	33.3	19.4	25.8
全体		13.4	52.0	34.6	20.9	26.4

平成22年度・第2四半期(平成22年7月～9月)の収益見通し

業種	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)	22年4～6月 D I
製造業		16.0	52.0	32.0	16.0	26.0
卸売業		7.7	56.4	35.9	28.2	43.6
小売業		7.6	58.1	34.3	26.7	40.6
サービス業		20.0	50.0	30.0	10.0	27.8
建設業		1.3	57.6	40.8	39.5	38.2
不動産業		6.7	56.6	36.7	25.8	41.9
全体		10.2	55.2	34.6	24.0	35.1

問 1. 金融機関（調査信用金庫を含む全ての取引金融機関）の融資姿勢について、どのような取組みに期待していますか。下記の中から3つ以内で選んでお答えください。

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 保証協会付融資や制度融資 | 6. 保証に過度に依存しない融資 |
| 2. プロパー融資 | 7. 決算書のみで頼らない目利き力に基づく融資 |
| 3. 新規融資や創業融資 | 8. 融資条件変更への対応 |
| 4. 資金供給（取引継続）の安定性 | 9. 審査機関の短縮化への取組み |
| 5. 担保に過度に依存しない融資 | 0. 特になし |

業種	回答No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
製造業		18	21	6	25	19	19	25	15	5	22
小売業		18	14	4	15	21	17	17	11	5	43
卸売業		10	6	0	9	6	12	7	4	1	11
サービス業		9	11	3	10	23	7	14	7	4	17
建設業		12	19	2	24	15	19	17	10	10	22
不動産業		5	5	3	4	8	6	6	3	5	9
合計	回答者数	72	76	18	87	92	80	86	50	30	124
	回答割合	10.1%	10.6%	2.5%	12.2%	12.9%	11.2%	12.0%	7.0%	4.2%	17.3%

問 2. 金融機関と継続的な関係を維持する上で、金融機関の渉外担当者のどのような役割や行動に満足している、または今後期待しますか。下記の中から3つ選んでお答えください。

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. 金融商品販売のプロ | 6. 領域を問わないさまざまな情報の提供者 |
| 2. 経営者個人の資金活用コンサルタント | 7. 他社や地域とのコーディネーター |
| 3. 貴社の財務改善の提言をするコンサルタント | 8. 集金などの細やかなサービス提供 |
| 4. 貴社の事業や業務改善の提言をするコンサルタント | 9. 貴社の商材の紹介など |
| 5. 経営者の悩みの聴き手 | 0. その他（ ） |

業種	回答No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
製造業		19	15	32	32	13	44	9	24	8	7
小売業		19	10	23	23	16	30	10	34	7	0
卸売業		10	7	4	9	10	16	4	7	6	1
サービス業		11	13	9	10	9	19	8	13	3	2
建設業		14	9	18	18	11	29	7	19	7	2
不動産業		4	3	4	6	4	11	4	9	0	2
合計	回答者数	77	57	90	98	63	149	42	106	31	14
	回答割合	10.6%	7.8%	12.4%	13.5%	8.7%	20.5%	5.8%	14.6%	4.3%	1.9%

問 3. 最近、インターネットを利用した預金や決済などの取引（インターネットバンキング：ファームバンキングを含みます）を利用する動きが広がっています。貴社では、インターネットバンキングを利用（予定を含みます）していますか。利用（予定を含みます）している場合はその理由を1～4の中から、利用していない場合はその理由を5～0の中から選んでお答えください。

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 窓口やATMに行かなくてよい | 5. インターネットへの接続環境がない |
| 2. 時間を気にせず取引できる | 6. セキュリティに不安がある |
| 3. 有利な条件で取引できる | 7. 取引は対面で行いたい |
| 4. 取引先から要望された | 8. 利用できる人がいない |
| | 9. 利用コストが高い |
| | 0. 利用するメリットを感じない |

インターネットバンキングを
利用（予定）している

利用していない

業種 \ 回答No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
製造業	29	17	4	2	1	6	11	10	1	17
小売業	28	9	2	3	4	12	16	12	0	20
卸売業	17	5	1	0	2	2	2	2	0	9
サービス業	17	11	4	0	1	5	8	3	2	10
建設業	24	13	0	1	2	7	7	5	4	13
不動産業	7	0	0	2	1	6	4	4	0	5
合 回答者数	122	55	11	8	11	38	48	36	7	74
計 回答割合	29.8%	13.4%	2.7%	2.0%	2.7%	9.3%	11.7%	8.8%	1.7%	18.0%

問 4. 地域金融機関以外で、貴社の経営面での相談相手として活用している（今後活用したい）存在にはどのようなものがありますか。下記の中から3つ以内で選んでお答えください。

- | | |
|----------------------|--------------------------------|
| 1. 中小企業支援センター | 6. 公認会計士・税理士 |
| 2. 商工会議所・商工会 | 7. 仕入先・販売先の経営相談等 |
| 3. 各自自体の経営相談所等 | 8. メガバンク |
| 4. 同業者団体 | 9. 地元政治家 |
| 5. 中小企業診断士等経営コンサルタント | 0. その他（ ） |

業種 \ 回答No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
製造業	17	36	3	7	14	59	8	5	0	4
小売業	8	38	4	17	7	51	14	0	1	6
卸売業	7	20	2	8	4	17	1	0	0	1
サービス業	2	15	2	13	4	39	3	2	0	3
建設業	9	26	1	19	8	50	4	0	1	4
不動産業	2	5	0	7	1	15	0	1	0	2
合 回答者数	45	140	12	71	38	231	30	8	2	20
計 回答割合	7.5%	23.5%	2.0%	11.9%	6.4%	38.7%	5.0%	1.3%	0.3%	3.4%

問 5. ゆうちょ銀行について、預入限度額の引上げや各種ローン(中小企業向けや個人向け)の開始が見込まれています。ゆうちょ銀行がこれらの業務を拡張した場合、貴社(経営者個人も含みます)はどのように対応しますか。 預入限度額の引上げについては1～5の中から、各種ローンの開始については6～0の中から、それぞれ1つ選んでお答えください。

(預入限度額の引上げ)

1. 民間よりも安心と思えるので預入額を増やす
2. 預金金利が高ければ預入額を増やす
3. 預入額を変えるつもりはない
4. 預入額を減らす
5. もともと預入はなく、今後も使わない

(各種ローンの開始)

6. 政府に近い銀行なので使いたい
7. 金利が低ければ使いたい
8. 保証・担保など条件がよければ使いたい
9. 集金・相談などサービスがよければ使いたい
0. 使うつもりはない

業種	回答No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
製造業		7	31	22	0	36	2	34	11	2	48
小売業		8	22	45	0	26	1	20	17	3	61
卸売業		3	9	14	0	10	1	9	6	3	17
サービス業		3	16	19	0	18	1	11	6	6	33
建設業		1	22	26	0	24	1	26	8	1	38
不動産業		4	11	6	0	7	1	6	5	2	15
合計	回答者数	26	111	132	0	121	7	106	53	17	212
合計	回答割合	6.7%	28.5%	33.8%	0.0%	31.0%	1.8%	26.8%	13.4%	4.3%	53.7%

「中小企業が金融機関に期待すること」のまとめ

(景気動向調査の有効回答先からの複数回答方式で調査したものです。)

1. 金融機関の融資姿勢について、「特になし」がトップであるが、次いで「担保に過度に依存しない融資」「資金供給の安定性」「決算書のみで頼らない目利き力に基づく融資」の順となっている。
2. 金融機関の渉外担当者に期待するで、「領域を問わないさまざまな情報の提供者」、次いで「集金などの細やかなサービス提供」となっており、情報やサービスの提供を期待されている。
3. インターネットバンキングを利用している理由は「窓口やATMに行かなくてよい」、「時間を気にせず取引できる」が多く、利用していない理由は「利用するメリットを感じない」「取引は対面で行いたい」が多かった。インターネットバンキングを利用しているのは47.8%であった。
4. 金融機関以外で経営面での相談相手として活用している(活用したい)のは「公認会計士・税理士」「商工会議所・商工会」の両方で62.2%を占めている。
5. ゆうちょ銀行との取引で預入限度の引上げについては、「預入額を変えるつもりはない」がトップで次いで「もともと預入はなく、今後も使わない」となっている。各種ローンの開始については、「使うつもりはない」がトップで「金利が低ければ使いたい」の順となっている。